

公益社団法人砥粒加工学会 賛助会員会 平成 27 年度 第 2 回技術交流会 「最新の切削・研削技術における新展開～新たなクーラント活用技術～」開催報告

【賛助会員会 運営委員会】

1. はじめに

砥粒加工学会賛助会員会では、生産加工などの分野において第一線でご活躍されている研究者や技術者の方々に講師としてお招きし、技術交流会を定期的に開催しております。この技術交流会は、聴講形式の講演会と、講師を囲んでのディープディスカッションの2部形式で実施しています。

このたび、平成 27 年度の第 2 回技術交流会を、2015 年 12 月 11 日(金)に、大田区産業プラザ(PIO)で開催しました。今回は、「最新の切削・研削技術における新展開～新たなクーラント活用技術～」をテーマとし、従来のクーラント技術を別の視点で捉え、高効率化、高精度化、コスト削減、地球環境、作業環境への取り組みで注目を集めている企業3社から話題提供していただきました。36 名の方々にご参加いただき、大盛況な会となりました。

2. 講演

開催の挨拶に続き、森合主税氏(株式会社トクピ製作所)から、『超高压切削による高送りと切り屑処理』と題して講演を賜りました。超高压クーラントユニットシステムを活用することにより切削点に効果的に切り屑破断効果と冷却効果を導入した実績例の紹介がありました。(写真 1)



続いて、信本明成氏(株式会社シオン)から、『ナノカーボンを活用した新たなクーラントシステム』と題して、講演を賜りました。ナノカーボンを安定に分散したクーラント液を活用した加工事例を被削材の機械的性質の観点から分類され、実際に効果の高い加工をご紹介します。(写真 2)



最後に、佐藤貴之氏(山田マシンツール株式会社)から、『強アルカリイオン水の切削・研削加工への適用について』と題して講

演を賜りました。水溶性クーラントは 10 倍から 50 倍に水で希釈して使用しますが、その希釈水を強アルカリイオン水に変えることで加工性が向上する事例をはじめ、海外(タイ)での適用状況についてのお話がありました。(写真 3)



3. ディープディスカッション

講演終了後の「ディープディスカッション」では、講師の方に登壇していただき、パネルディスカッション形式の情報交換会を行いました。実際にクーラントを使用される立場の聴講者の皆様から様々なご質問、ご意見があり、今後の展開にも有意義な懇談の機会となりました(写真 4)。



夕刻からは、大田区産業プラザ内から場所を移し、中華料理店(来富市場)での懇親会を行いました。(公社)砥粒加工学会賛助会員会・会長の熊倉様からご挨拶を頂き、多くの参加者(29 名)がなごやかに談笑し、親密な技術交流をすることができました。

4. おわりに

賛助会員会では、今回のような技術交流会を年に2回開催しています。情報交換会や懇親会にたっぷり時間をとっていますので、最新の技術情報を詳細に知ることができるほか、講師や賛助会員相互の親睦を図ることができます。技術交流会以外にも、見学講習会、先進テクノフェアなど様々な行事を企画しております。これからも、会員各位に興味を持っていただけるような企画を立案してまいりますので、ぜひご参加くださいますようお願いしております。

最後になりますが、本技術交流会において貴重なご講演を賜りました講師の先生方に厚く御礼申し上げます。

(文責: 運営委員会 ***)